

逢初川水系逢初川
直轄砂防災害関連緊急事業

い ず さん
伊豆山砂防堰堤



令和 5 年 3 月完成

国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所

■直轄砂防災害関連緊急事業の経緯と概要

逢初川は、熱海市北部に位置する岩戸山（標高734m）南麓に源を発し、熱海市伊豆山地区を貫流して相模灘に注ぐ、流域面積1.9km²、幹川流路延長1.3kmの二級河川です。

令和3年7月1日未明から降り始めた雨は、静岡県熱海市の雨量観測所（静岡県観測）において7月3日までの総雨量496mmを観測。3日10時30分頃には逢初川上流域で大規模な土石流が発生し、死者28名という未曾有の災害となりました。

災害復旧にあたっては、狭隘かつ急勾配な現場において高度な技術力が必要となることから、静岡県知事より国に対し直轄砂防施工要請が出されました。これを受け、令和3年7月20日に国直轄による緊急的な砂防工事「直轄砂防災害関連緊急事業」に着手。令和3年8月13日には、被災地の復旧・復興を加速化するため、事業を担当する富士砂防事務所に「熱海緊急砂防出張所」を開所しました。

事業の緊急かつ安全な実施が求められるなか、溪流内には泥濘化した多量の土砂が厚く堆積し、陸路での進入が困難であったため、24時間体制かつDX（デジタルトランスフォーメーション）を活用した無人化バックホウによる掘削作業、ならびに富士山源頭部工事で実績のあるヘリコプターによる土砂搬出を実施し、令和3年12月までに仮設ブロック堰堤の整備と逢初川砂防堰堤（既設）の除石を完了しました。その後、令和4年3月に新設砂防堰堤の整備に着手し、令和5年3月に「伊豆山砂防堰堤」の完成を迎え、直轄砂防災害関連緊急事業が完了しました。



逢初川土石流災害の概要

■被災範囲

延長約1km、最大幅約120m

■人的被害

死者28名、負傷者4名

■住宅被害

98棟（全壊53戸・半壊11戸・一部34戸）

出典：静岡県ホームページ より





仮設ブロック堰堤



逢初川源頭部



逢初川砂防堰堤(既設)の除石

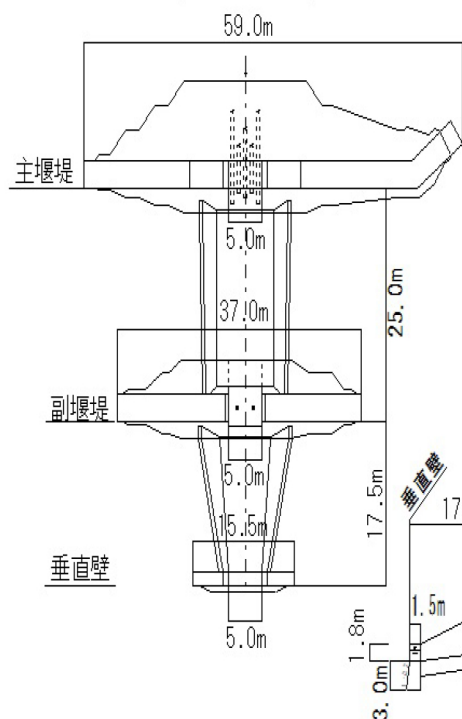
主堰堤

副堰堤

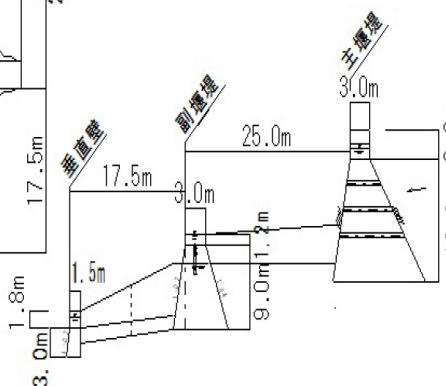
垂直壁

伊豆山砂防堰堤

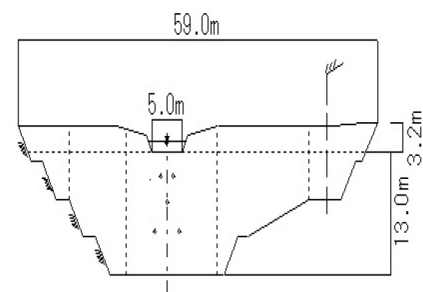
平面図



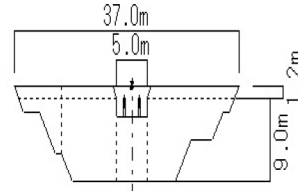
側面図



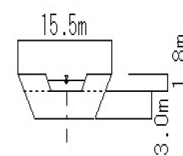
主堰堤正面図



副堰堤正面図



垂直壁正面図



■中部地方整備局の取り組み

令和3年	7月 3日	10:30頃 発災、TEC-FORCE派遣(7/3~8/13)
	7月15日	静岡県知事より国土交通省に緊急要望
	7月20日	国交大臣定例会見「国直轄による緊急的な砂防工事を実施する」
	7月21日	「熱海緊急砂防チーム」設置(工事に向けた準備チーム)
	7月29日	右岸工事用進入路工事に着手
	8月13日	「熱海緊急砂防出張所」開所
	9月15日	工事用進入路工事完了
	9月20日	ネットロール土のう設置完了
	10月23日	工事用進入路工事完了(逢初川砂防堰堤(既設)に到達)
	12月 2日	仮設ブロック堰堤完了
	12月23日	逢初川砂防堰堤(既設)の除石完了
令和4年	2月16日	ネットロール土のう移設完了
	3月23日	新設砂防堰堤 本格着手(掘削工)
	5月18日	新設砂防堰堤 コンクリート打設を開始
	9月16日	新設砂防堰堤のうち、主堰堤完成
	12月6日	新設砂防堰堤のうち、副堰堤完成
令和5年	3月13日	新設「伊豆山砂防堰堤」完成
	3月20日	新設「伊豆山砂防堰堤」を静岡県へ引き渡し
	3月31日	「熱海緊急砂防出張所」閉所

国土交通省 中部地方整備局 富士砂防事務所
〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100
TEL 0544-27-5221 (代 表)
TEL 0544-27-4354 (工務課)

熱海緊急砂防出張所 [令和5年3月31日廃止]
〒413-0016 静岡県熱海市水口町13-15
TEL 0557-29-6271

URL <https://www.cbr.mlit.go.jp/fujisabo/>

工事動画を公開中
(富士砂防事務所HP内)

